



サポートセンターつながっぺでの公演。

名人芸を堪能「詩と講談のまつり」

詩人の桑原滝弥さん、講談師の神田京子さんが、8月7日、サポートセンターつながっぺと交流センター「ふれ愛館」の2会場で、『詩と講談のまつり』を開催。詩の朗読と講談を、魅力たっぷりに披露しました。また、交流センターでは、全村避難中に2人が訪問していた伊達東仮設住宅の元住民と再会。当時交わした再訪の約束を果たしました。



つながる活動部『Slur』の料理教室

『Slur』は、「事業者と事業者をつなぎ、新しいワクワクを作りたい」と、この夏発足した活動部。8月20日に料理教室『COOKRING』を交流センター「ふれ愛館」で開催し、ラ・カッセの佐藤雄紀シェフによるライブキッチンスタイルで、村の特産品を使った3品を15人の参加者が楽しく調理しました。また、トルコギキョウを使って料理を彩るテーブルコーディネートも。参加者は「自分達で作ったとは思えない程おいしかった」「新しい出会いの場としてとてもよかったです」と笑顔を交わしていました。



『COOKRING』は定期開催を予定。次回は9月18日を予定しています。



slur_iitate
Instagram



飯館ライオンズクラブが標語で呼びかけ

8月20日、飯館ライオンズクラブが、白石地区と役場前の交差点に、交通安全と薬物乱用防止を呼びかける看板を設置しました。同クラブの結成45周年を記念して行われたものです。白石地区の交差点に設置された交通安全の標語は、今年3月、いいたて希望の里学園の児童生徒から募集した標語のうち最優秀賞を受賞した3点の作品です。当日は約20人のライオンズクラブ会員が協力し、設置作業を行いました。



英工務店に防火安全協会から表彰状

8月24日、英工務店が相馬地方防火安全協会から表彰を受けました。この表彰は、消防法の基準に適合し、その維持管理が優秀で、過去10年以上無火災・無事故に努め、他の模範となると認められた事業所等に贈られるものです。英工務店は、平成6年に同協会飯館支部に入会してから28年間、無火災、事故防止に努めてきた功績が認められました。表彰状は横山義幸南相馬消防署飯館分署長(写真右)から高橋英明社長に授与されました。



比曽の農地に広大なヒマワリ迷路

菅野義人さん(比曽)は、比曽坂の中腹にある農地に、緑肥作物としてヒマワリを植えています。そのヒマワリ畑に迷路がつくられていると、地区の方からお聞きし、菅野さんをお願いして写真を撮らせていただきました。全長約600mの迷路には3段階のステージがあり、途中に休憩所や展望台が設けられています。菅野さんのお孫さんをはじめ、夏休みに帰省した地区の皆さんが、この広大な迷路を楽しんだそうです。見事な絶景でした。



大渡さんのアスパラ都内マルシェへ

7月29日、大渡和公さん(草野)が、アークヒルズ(東京都港区)のマルシェに出店し、自身の生産するアスパラガスを販売しました。この「ヒルズマルシェ」は“つくりてに出会えるマルシェ”をコンセプトに定期的に開催されているもの。東京都在住の長女・美咲さん、次女の佑美さんが協力して今回の出店を企画しました。大渡さんは福島市在住の三女・美香さんと共に当日の朝現地に向かい、採りたてのおいしいアスパラガスを都心の消費者に届けました。



南東北クボタがナタネの選別を実演

8月4日、南東北クボタが飯樋町で、選別機によるナタネの選別の実演を行いました。選別に使用したのは、11区営農組合で生産しているナタネです。同営農組合では、乾燥調整施設だけでは雑草を取り除くことが不十分であるため、これまでは手作業で選別作業を行ってきました。使用した選別機は本来、エゴマを選別する際に使われる機種ですが、今回の実演で、ナタネの選別にも十分機能することが分かりました。



選別機できれいに選別されたナタネ。



建長寺にて。

永井川カフェ～夏の鎌倉旅～

ゆかいなしあわせカフェ永井川の皆さんが、8月5日から2泊3日で神奈川県鎌倉市を訪れました。この旅は、「未来・連福プロジェクト」が平成25年から開催しているイベント『建長寺で会いましょう!』の招待で、飯館村から参加するのは3回目です。建長寺をメインに、鶴岡八幡宮や小町通りなどを見学し、現地のボランティアの皆さんと交流しました。「未来・連福プロジェクト」は、福島心の復興支援のために活動を続ける、神奈川県的女性団体です。